

2026年5月

全日本小学生バレーボール大会鹿児島県大会ブロック予選
～レフェリーミーティング 確認事項～

1. 2026年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および小学生のためのルール「フリーポジション制」で行います。
2. サービスゾーン後方のライン(6.5m)については、原則設置します。
3. 試合球は、女子：モルテン、混合：ミカサとなります。
4. 各チーム相互審判制とし、ホイッスルは体育館の舞台側コートから短・長の順とします。コルクなしのホイッスルは、選手が隣コートのホイッスルと混乱する可能性があるため、隣接コートで試合がある場合は使用できないこととします。電子ホイッスルは不可です。
5. 混合の部は、男女ともに試合に出場していることが必須条件ですので注意願います。
6. タイムアウトは、新ルール（30秒経たなくてもコートイン可）でゲームするようお願いいたします。
7. 2026年度より、テクニカルタイムアウト（TT0）が小学生ルールより削除となり、競技としての取り扱いへ移行となった。名称をセーフティタイムアウト（ST0）とし、気候や季節、施設の環境等を考慮しながら大会毎に大会実行委員会にて設定する。セーフティタイムアウトは選手の健康と安全のために適用されるものであることを再確認し、ベンチスタッフは選手の給水や健康観察を最優先させ、戦略的な声かけや指示はできない。
8. 「監督は、自チームのアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。この時、ラインジャッジの視界を遮ってはならない」
※この取り扱いは、検証のための試験的な導入とする。
9. 「相手コートに侵入している片方の足（両足）の一部が、センターラインに触れているかセンターライン真上にあれば、この動作が相手チームのプレーを妨害しない限り、足首よりどの部分が相手コートに触れてもよい。」
※この取り扱いは、検証のための試験的な導入とする。
10. モップを各コートの後方に準備しますので、レフェリーの判断で使用するのは可能ですが、基本は各選手が携帯しているタオル等を使用させてください。
11. モップ使用はタイムアウト時は各チームの判断でOKですが、セーフティタイムアウト（ST0）時は、選手やベンチメンバーは給水と健康観察の時間となりますので、ベンチスタッフがモップをかけるようにしてください。
12. 小学生のためのルールに基づき、ロング(wrong)サーバーを出さないよう、レフェリー（主に副審）が確認を確実にお願いします。サーバー間違いの際の取り扱いについても再度確認しておいてください。
13. 選手交代において、小学生は最大12回となっていますので注意をお願いします。
14. 監督及びベンチスタッフの必要資格は、プロトコルの際に確認し、資格証を試合中胸示するよう指示をお願いします。
15. キャッチボールは、適正に吹笛してください。
16. JVA審判員・県小連審判員は、規程の公式審判服を着用してください。ワッペンを左胸部に表示してください。